

アカデメイア通信

第4号
平成28年5月26日
大妻多摩中高図書室

3階自習室から見える青葉が、目に眩しい季節です。アカデメイア通信のバックナンバーが、ウェブサイト上で見られるようになりました。誰にも配布していない〈幻の号外〉もあるので、ぜひ見てください。



1. 平成27年度3月の貸出数

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
3月	134	7	21	15	33	3	213
昨年度累計	1081	347	261	188	255	753	2885

3月の個人貸出数ランキングは、1位27冊(中2-1)、2位15冊(中2-2)、3位14冊(中2-3)、4位12冊(中2-4)、5位8冊(中2-4)、6位7冊(中2-2、中2-4、高3-1)でした。クラスは現クラスです。個人情報観点から名前は公表していません。

2. 現在図書室で行っているフェアはこちら!

図書室のあちこちで、特集を組んで本を紹介しています。ぜひ新たなジャンルにも挑戦を!

植物図鑑

有川浩『植物図鑑』(913.6/A71)の特集です。ふだん何気なく見ている木や雑草も、こんな風においしく食べることができるのですね。ハーブの本などもあります。

ONCE UPON A TIME

世界のお姫さまを集めました。ディズニープリンセスもいます!



男性作家特集

昨年度は女性作家の本を並べていたので、男性作家の本を取り上げてみました。東野圭吾、米澤穂信、森見登美彦など、大妻多摩でも貸出が多い作家です。

「一人暮らし」いつかはやってみる? (渡り廊下掲示ポスター関連)

自立と自活、一人暮らしに必要なものは何でしょう?

生き物の逞しさ (新聞書評欄に関連して)

植物や昆虫、皆したたかに生きています!



そうだ、山へ行ってみよう!

最近は装備品の機能が上がり、ファッションブルにもなってきました。まずは近場の高尾山からいかがですか?



菌活をはじめませんか?

人間のからだの中で菌を多く保有するのは腸です。その腸は「第二の脳」と言われるくらい大切な臓器で、いい状態に保っておくと良いことがたくさん。さあ、菌活をはじめましょう!

占い! 信じる? 信じない!?

不思議とあたると評判の『誕生日大全』(148.8/C91)はじめ、確率の本まで。今日は何の本を読もうか迷う人のための「NDCおみくじ」もあります。

中国三大奇書 (渡り廊下掲示ポスター関連)

明代に書かれた『水滸伝』『三国志演義』『西遊記』。今でもメディアミックスなどで注目を集める、根強い人気を誇る作品です。



郷愁の詩人と謝蕪村 (渡り廊下掲示ポスター関連)

「菜の花や月は東に日は西に」「行く春や重たき琵琶の抱き心」「さみだれや大河を前に家二軒」などの作品で知られる与謝蕪村。彼の詩心に触れてみませんか?

英語から読む? 日本語から読む?

英語圏の小学生~中高生に人気のある本を、邦訳とあわせて紹介しています。映像化されているものも多いので、好きな場面だけ英語で読んでみる、というのもいいでしょう。

3. 29期生の中学卒業研究を展示しています

29期生が昨年度提出した中学卒業研究を、検索機近くの書架に展示しています。6月末まで展示の予定です。

図書室の蔵書と同じNDC分類によって分けてありますので(0類~9類)、同じテーマで参考文献を探すときは、その番号の本棚を探すとスムーズです。

もしわからなければ、質問してください。



『希望名人ゲーテと絶望名人カフカの対話』

頭木弘樹 飛鳥新社 947/G56

人間は時にネガティブな言葉によって癒される——。現在でもカフカに惹かれる人が多いのはそういうことなのでしょう。一方で、ポジティブ思考で、多くの名言を残しているゲーテ。この二人に同じテーマを語らせるとどうなるのでしょうか？ あまりにも方向性が違い、笑ってしまいます。

『オンライン英会話の教科書』 嬉野克也

国際語学社 830/U

じわじわと浸透しているオンライン学習。スカイプを利用することによって、自宅にいながら外国人の先生とレッスンができます。『21世紀の英会話』(高城剛 830.7/Ta54)も合わせてどうぞ。



『どちらかが魔女』 森博嗣 講談社 913.6/Mo45

人気の〈S&Mシリーズ〉〈Vシリーズ〉の短編集です。シリーズを読破してしまった人はぜひ。犀川先生も萌絵ちゃんもたくさん出てきますよ。

『図書室のギリギリス』 竹内真 双葉書房 913.6/Ta67

バツイチになったのを機に、学校司書として高校の図書室で働きはじめた詩織。図書室や生徒にはいつもちょっとした謎があり、詩織はそれらをやわらかく解きほぐしていく。そしてついに自分の問題とも向き合うことに……。作中でいろいろな本が紹介されていて、そちらも読みたくなってしまいます。

ふくろうの本(河出書房新社)、ほぼ揃いました!

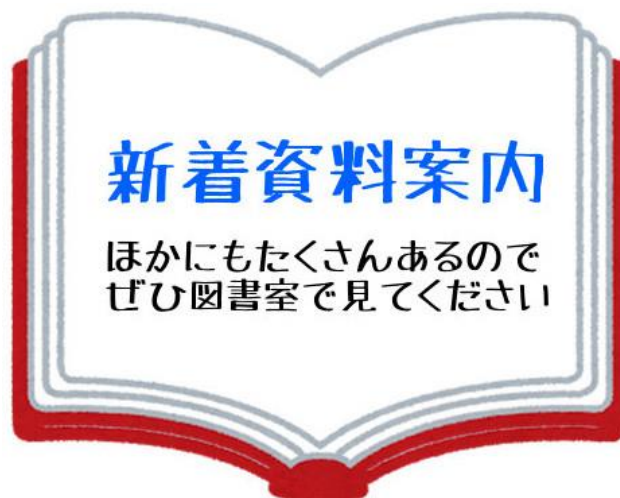


『数の歴史』 ドゥニ・ケージ 創元社 410.2/G91

数字は、いつの間にか生活の中に溶け込んでいます。古代からの数字の表現、計算方法などから、さまざまな可能性を秘めた定理まで、歴史からみていく〈数〉の本です。数学苦手!という人も、もしかしたら興味がわくかも……?

『図説 日本100名城の歩き方』 小和田哲男ほか 河出書房新社 521.823/O93

大名や武将が建てた城は、日本各地にあります。修復を重ねて残っているものもあれば、城壁のみであったり、城址として残ったりするものもあります。いざ戦場となった場合の要であり、理に適った造りでもあるという点に、感心してしまいます。



『図説 アイトリック』 種村季弘ほか 河出書房新社 725.2/Ta86

だまし絵、錯視……一つの絵から、複数の絵が見えたり、同じ長さの線なのに、違う長さに見えたりと、世の中には面白い絵がたくさん!? 実は、私たちの目(脳)がだまされているだけです。それでも、数々の不思議な絵を見ているうちに、その世界に引き込まれてしまいます。

『図説 マザー・グース』 藤野紀男 河出書房新社 931/F64

何気なく歌っていた歌、不思議の国のアリス、ミステリー小説など、マザー・グースの歌をどこかで耳にしたことがあると思います。曜日や数を覚えるためのものだったり、伝承だったり、



少し怖いものもあつたりします。図書室の洋書コーナーにも、マザー・グースがそろっていますので、あわせて見てみてください。

狭山台校より本をたくさんいただきました。中央通路左側で紹介中です。



『ローマの休日ひとり歩き』 佐藤幸三 平凡社 293.7/Sa85

ローマといったら、どのような場所を思い浮かべますか? 神殿跡などの遺跡・教会や大聖堂など、歴史的な見どころがたくさんあります。特に、サンタ・マリア・イン・コズメディン教会にある「真実の口」は、日本でもレプリカなどで見かけるかと思えます。映画『ローマの休日』でも、有名なワンシーンで使われています。



『呪術探究』1~3巻 原書房 163.8/J92/1~3

陰陽師などを読むには、知っておいて損はない! 呪いとは何か、霊を呼べるのか……なかなかマニアックなおカルト本ですが、古典の中で登場したり、ファンタジー小説で参考にされていたり、意外と身近(?)なものです。ただし、決して実践はしないでください。

『きれいになれるランニング』 牧野仁 大修館書店 782.3/Ma35

ランニングをすると、どんなメリットがあるのか。どのようなランニングが、効果的なのか。また、ウェアから食事まで、いろんなアドバイスが載っています。楽しく賢く、きれいになる方法がたくさんあるので、まずは簡単なエクササイズから始める、という手もあります。

